

### Audio Accessory 2019 AUTUMN 174 - JAPAN



コンポーネントのリアパネルの空き端子は、実は音質に影響を及ぼしている。汚れ防止の意味ではなく、積極的に音質向上を図るための対策が有効となる部分なので、取り組んでみる価値がある

と、SN比や解像度高めて効果がある。ショートピンも同様な効果を見せるが、印象としては出力経路への装着の方が大きいように思う。この種のアクセサリは、副作用が発生しないのがいい。本格的な、オープン端子の対策アクセサリといえるだろう。通常の使い方では見逃していた、あるいはまだ失われていたことがあったことに改めて気づく。

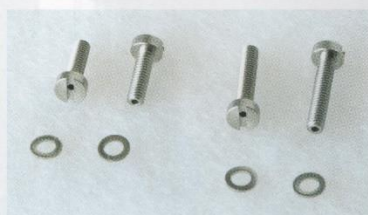
#### フルテックのNCF電源端子 新シリーズの性能と音に注目

フルテックから、音質改善効果の大きいNCF素材を絶縁部材に採用する、新しい電源プラグとIECコネクターが発売された。「FI・48 NCF」シリーズである。すでに最高級のFI・50 NCF(R)でも採用されていてそれに次ぐモデルになるが、性能は超えているのではないだろうか。電極の

メッキの種類は、ロジウムメッキ(R)、銀メッキ(Ag)、そして金メッキ(G)のタイプがある。試聴していくと、ロジウムメッキタイプの性能は高純度、高解像度で素晴らしい性能を持っている。上級のFI・50 NCF(R)は外周にカーボンの化粧シールを付したもので、豪華なデザインではあるが、今回のFI・48 NCF(R)は基本的にはこの化粧を排除したタイプということができる。

実はFI・50 NCF(R)のIECコネクターは優れた性能があるため、実験ケーブルを自作して使ってきた。これをFI・48 NCF(R)のIECコネクターに交換して調べると、やはり格段に優れて洗練された性能が現れた。電源ケーブルではプラグも重要だが、最終的には送り先の端子、IECコネクターの性能が大きく影響する。FI・48 NCFシリーズは純銅の電極、ケースはステンレスの切削加工した作りである。なお金メッキタイプのみ、設計時に音質を考慮してアルミ合金製ケースが採用されており、型番もFI・46 NCF(G)となっている。

また、このシリーズでは電極に銀メッキのタイプ、FI・48(Ag)も製品化されたところが新しい。試聴すると純度の高く滑らかな温かい音質で、磨きのかかった中音や、高音の美しい色彩感、そして歪み感の少ない、柔らかく気品のある音が魅力となっている。これは金メッキタイプよりもクリティの高性能があり、面白い。金メッキタイプも、通常の金メッキよりも解像度のしっかりした内



ステンレス製ネジに精密中空加工を施した、AETのカードリッジ用ネジ「EVO-CSSH」(¥12,000/1セット、税別)。精密ねじ山加工によって、2.5mmと2.6mmどちらのねじ穴にも対応できる。長さは、8.5mmと12.5mm 各2本とワッシャー4個のセット

フルテックの最新電源プラグ/IECコネクター。右がFI-48M NCF(R)/FI-48 NCF(R) (各¥22,000、ロジウムメッキ、税別)。中央がFI-48M NCF(Ag)/FI-48 NCF(Ag) (各¥21,000、銀メッキ、税別)。左がFI-46M NCF(G)/FI-46 NCF(G) (各¥17,000、金メッキ、税別)



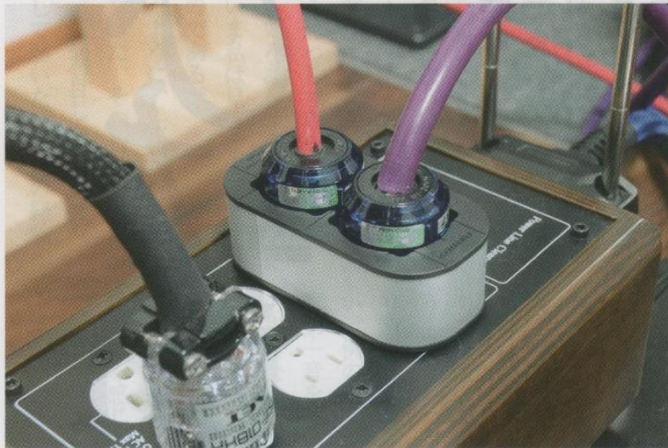
容で性能を高めるが、柔らかい音質を求める金メッキファンには、銀メッキタイプの方が納得できるのではないだろうか。

### 超高精度な中空加工を採用の AET のカートリッジ固定ネジ

AETは、ステンレス材を使った細かいネジの中心に貫通穴を作った軽量化し、硬度の高い物性のカートリッジ用固定ネジを開発した。「EVO・CSSH」シリーズである。このネジは2.5mmと2.6mmのどちらの径にも対応する。アナログマニアには見逃せないネジになるだろう。一般にこの部分には



「NCF Booster-Brace」。壁コンセントや機材の電源入力部にも効果を発揮する、新たな電源クオリティアップツールだ



フルテックの新しいNCF Boosterシリーズ、電源プラグホルダーの「NCF Booster-Brace」(¥19,800 / 1個、税別)。ここは新しい用途で、無視できないレベルの音の変化が現れる



「ジェットストリーム OVER THE NIGHT SKY 第一集 CD 全7巻」(販売元:ユーキャン)。城達也のナレーションで、かつての人気番組の1回分がCD1枚に収録再現されている(Photo by 君嶋寛憲)

アルミが使われているが、AETは工業用ステンレスで強度の高い性能を追求した。長さは8.5mmと12.5mmの各2本セットでワッシャーが付属。ナットも開発するとい

う。これをテストしてみた。現用のオルトフォンのMC型カートリッジのアルミニウムと比較する。低音は引き締まって力強く、高音は鮮明になり解像度も強化される。この傾向が特色になる。このため、柔らかい音が好みの人には好き嫌

いも発生するかもしれないが、音は高速なスピードのあるレスポンスが得られ、細部の表情がすつきりとして解像度が高い。

### フルテック最新のNCF製品 NCF Booster-Brace

NCF Booster-Braceは、電源ボックスに接続された電源プラグや壁コンセントのプラグ部に装着して音質を改善する製品。プラグに必ずしも密着させる訳ではなく、取り囲むような状

態になる。壁コンセントでは付属の両面粘着テープで固定することも可能。平置き電源ボックスでは、そのまま置いて使うことができ、抜き差しが多い場合は貼らない方が使いやすいだろう。

この効果はどのようなものか。電源ボックスのプラグ部で試すと、SN比が向上、混濁や音のゆるみを抑え、すっきりする。解像力や低音力にも効果を見せる。外すと音は膨らみ、コントラストや締まりが甘くなるのが分かる。

### 長寿番組「ジェットストリーム」 思い出とその魅力のワケ

青春時代、つらいことも楽しいこともあった。午前零時から民放FM放送から流れるこの番組は、希望を届けてくれた。1967年から現在も続いている長寿番組「ジェットストリーム」は、JALがスポンサーになり50年以上の歴史がある。城達也の声によるナレーションが素晴らしかった。「遠い地平線が消えて、深々とした夜の闇に心を休める時……。そしてフランク・プウルセル・グランド・オーケストラの「ミスター・ロンリー」が流れる。この番組の魅力は、城達也のナレーションにもあった。現在では、当時の格調がなくなってしまうのが惜しいが、現在のベテランマニアはエアチェックでカセットテープに録音することも多かっただろう。イージーリスニングを主体にした音楽の番組である。こんな時代の経過を継承する番組は知っていてもいい。写真はユーキャンから最近発売されたセットを購入してみたものだ。明瞭でS/Nも高く、何よりも城達也の声がクリアであるのはいい。